

【授業科目】 産業看護学特論Ⅱ（労働経済学序論） Advanced Occupational Health NursingⅡ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
大谷喜美江、後藤由紀、柴田英治	1年次後期	選択	2	30	講義	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方)及び課題に対するフィードバック方法	<p>環境変化と労働市場、経済変動と労働市場、職場における教育訓練、就職と採用、査定と昇進・定年、労使関係、労働者の抱えている問題等について、教科書を使用しながら学生によるプレゼンテーションと討議を行う。学生が主体的に参加し、教員と議論することで学びを深める討議形式で展開する。</p> <p>課題に対するフィードバック方法/授業時間内に学生とのディスカッションを通して検討し、学生にコメントする。</p>					
授業の位置づけ	本大学院のディプロマ・ポリシーの④の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<p>① 産業社会・産業組織・産業経済の概念、成立過程および変遷と、労働・労働者の概念について学習し、働く人々が属している産業社会・産業組織の抱えている課題や、産業経済の潮流について考察することができる。</p> <p>②若年労働者、高齢労働者、女性労働者、障害をもつ労働者などがどのような健康問題を抱え、どのような支援を必要にしているかについて討議し、支援のあり方を考えることができる。</p> <p>③労働経済と労働者の健康との関連を考え、顕在あるいは潜在する健康障害の予防対策を考えることができる。</p>					
時間外学習に必要な内容・時間	<p>事前：各自、教科書を参考に各回のテーマについてまとめておくこと。プレゼンテーション担当者は、討議したい内容について検討しておく担当者以外の学生もテーマについてまとめ、自分の意見や疑問を明らかにしておく。(120分)</p> <p>事後：討議の内容を振り返り、学びをまとめる。(30分)</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>					
授業計画	<p>第1～2回 日本の労働市場 1) 労働市場の重要な指標 2) 賃金と雇用量の決定 3) 産業看護職の役割検討</p> <p>第3～4回 失業と不安定雇用 1) 失業のストックとフロー 2) 不本意な非正規雇用 3) 産業看護職の役割検討</p> <p>第5～6回 労使関係 1) 産業・職業・企業別労働組合 2) 日本の労働市場と藤堂組合 3) 産業看護職の役割検討</p> <p>第7～8回 労働供給 1) 労働供給 2) 労働と家庭内生産 3) 産業看護職の役割検討</p> <p>第9～10回 高齢者の就業と引退 1) 定年制度と退職 2) 高齢者雇用の経済分析 3) 産業看護職の役割検討</p> <p>第11～12回 女性労働 1) 出産、家族形成と女性の就業 2) 職場における女性労働 3) 産業看護職の役割検討</p> <p>第13回～15回 労働者が抱える問題に関する文献クリティークとディスカッション 1)健康経営 2)両立支援 3)まとめ・産業看護職の役割検討</p>					<p>大谷・柴田・後藤</p> <p>柴田・後藤・大谷</p> <p>後藤・大谷・柴田</p> <p>柴田・後藤・大谷</p> <p>大谷・柴田・後藤</p> <p>後藤・大谷・柴田</p> <p>大谷・柴田・後藤</p>
評価方法 評価基準	<p>討議への参加態度 50%</p> <p>レポート・プレゼンテーションの総合評価 50%</p>					
教科書	大森義明、永瀬伸子著 労働経済学をつかむ 有斐閣 2021		参考書等	他は必要時提示		